

《Lk.10:42》

教会福音讃美歌 312, 441

ケーキの話。レシピは材料だけでなく順番が重要。

今年の教会のテーマが、《Ps. 1:1-4》「幸いなことよ。主の教えを喜びとし 昼も夜も口ずさむ人。その人は 流れのほとりに植えられた木」幸いな人生、信仰生活のためにイエスさまのみことばに耳を傾ける。

1. どうしても必要なこと《42》

よきサマリア人のたとえの後に記されていることに意味がある。さあ、行動開始！という時に、いや、行動の前に重要なことがあるという配置。この主のメッセージは、ただ一つを選ぶこと。幸いな人生のレシピはどうしても欠かせないことを最優先にすればいい。ほかの順番はどうつけてもたった一つだけ最優先の順番を間違えてはいけない要素がある。

それが、マリヤがしたこと《39》。主動詞は、「主のことばを聞いていた」

その様子を形容しているのが「足元に座って」➡時間も空間もイエスさまに固定して、イエスさまの語ることに耳を傾けること。

選ばない歩みがどのようなものか、示されている。

2. 選ばない歩み《38, 40》

それが、マルタの姿。

《38》はじめは喜びがあった。その喜びが損なわれて、疲れてしまう。

《40》活動によって充実感や達成感を得ようとする毎日は、忙しくなる一方。そして、本当の願いと行動が、アンバランスになる。自分の内なる心が願っていることがわからなくなってしまい、心が安定しなくなる。そして、人との比較が始まる。なぜ、自分ばかりがこんなに大変なのか。自己憐憫に陥り、神さまは私のことを大切に思ってくれていないと、愛がわからなくなって、不平・不満・つぶやきでいっぱいになる。

3. イエス様がしてくださったこと《41, 42》

イエスさまは、マルタの名を呼んだ。

イエスさまは、マルタの表面に現れている行動だけでなく、その心の中までよく知っておられた。

マルタに目を注ぎ、心を傾け、ずっと見ていてくださった。

神さまのもとで味わうのは、愛。そして、教えてくださったのが、たった一つ大切なことを選ぶこと。毎日、毎日、愛に満たされて出発するように。これが幸いな人生のレシピ。

ここに、マルタの応答は記されておらず、イエスさまの語り掛けで終わっている。

これは、私たちへのチャレンジ。

ただ一つ必要なことを選び、幸いな人生を歩みましょう。